

当社独自の全国網で、充実したワンストップサービスを展開



議事録作成支援ソリューションパッケージ商品構成および商品一覧

■商品一覧

商品名	品番
議事録作成支援ソリューションパッケージ(5年保守)	Y9BSA1P5

■機器構成

商品構成
① 議事録作成端末本体
② オーディオアダプター
③ USBケーブル (Type-A to Type-C)×2
④ サービス

※本ソリューションで動作確認済みの音声デバイス(スピーカーフォン、マイク、スピーカー)については、販売店、または弊社営業窓口にお問い合わせください。

■アプリケーション動作環境 本製品を操作するには専用のアプリケーションが必要です。

コントロールアプリ*	
OS	Microsoft® Windows10(64bit) / 11
議事録閲覧Webアプリ*	
推奨ブラウザ	Google Chrome™ / Microsoft Edge®

※ARMアーキテクチャを搭載した端末はサポート対象外です。

■動画・音声ファイルからの文字おこし

対応ファイル形式	動画	WMV / AVI / MP4 / M4V
	音声	WAV / MP3 / WMA / M4A / AAC
最大ファイルサイズ	16GB	
最大音声再生時間	24時間	

※処理可能なファイルは1ファイルのみです。複数ファイルの同時処理には対応していません。
 ※本機能は「会議で文字おこし」機能との併用はできません。

■商品ご理解のために

■商品の保証について ●当商品のご使用にあたっては、保守サービスの契約が必要となります。●当カタログ掲載の本体の補修用性能部品の最低保有期間は、製造終了後から5年です。詳しくは <https://dynabook.com/assistpc/repaircenter/partslimit.htm> をご覧ください。●当製品には、有寿命部品(ハードディスク、SSD、冷却用ファンなど)が含まれています。交換時期の目安は、使用頻度や使用環境(温湿度など)などの条件により異なりますが、当製品を通常使用した場合、1日に約8時間、1か月で25日のご使用で約5年です。24時間を超えるような長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換(有料)が必要となります。一般社団法人電子情報技術産業協会「パソコンの有寿命部品の表記に関するガイドライン」(https://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_FuLZW1JpDj.pdf) をご覧ください。●保証期間中でも修理は有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

■商品のご使用について ●当製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。●この製品はMeta社のLlama 3およびSwallow LLM TeamのLlama3.1-swallowを使用しています。(Built with Meta Llama 3, Built with Gemma) お客様はMeta Llama 3 Acceptable Use Policy (<https://www.llama.com/llama3/use-policy/>)、Llama 3.1 Acceptable Use Policy(<https://www.llama.com/llama3.1/use-policy/>) および、Gemma Terms of Use(<https://ai.google.dev/gemma/terms>)に抵触する用途にこの製品を使用することはできません。Meta社およびその関連会社はこの製品に関して一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。●本体は24時間連続使用を前提とした設計にはなっていません。●誤動作や故障により、当製品の記憶内容が変化・消失する場合がございますが、これによる損害、および当製品の使用不能により生じたお客様の損害については、弊社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。●当製品に付属の取扱説明書における使用上の注意事項に関する記載内容を遵守せず、損害が発生した場合、当社ではいっさい責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■カタログについてのご注意 ●製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。また、商品の色調は印刷のため実物と異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。●画面はすべてハメコミ合成です。実際の表示とは異なります。●「ICE-LLM」、「eAssistant」は、シャープ株式会社の登録商標です。●Dynabook、dynabook、dynadeskは、Dynabook株式会社の商標です。●USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。●Microsoft、Windows、Microsoft Edgeは、マイクロソフト グループの企業の商標です。●Google ChromeはGoogle Inc.の商標または登録商標です。●その他、会社名、製品名等の固有名称は各社の商標または登録商標です。

■QRコードから誘導されるサイトについてのご注意 ●当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

■安全に関するご注意 ●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書の「安心してお使いいただくために」などをよくお読みください。

お問い合わせページ	<p>https://smj.jp.sharp/bs/ssl/inquiry/form.php</p> <p>■価格については販売店にお問い合わせください。 ■このカタログに関するお問い合わせは、販売店にご相談ください。もし、販売店でお分かりにならないときは、上記にお問い合わせください。</p>	
-----------	--	--

シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
<https://corporate.jp.sharp/>



このカタログは環境に配慮した植物油インキを使用しています。

このカタログの内容は、2025年8月現在のものです。

〔E(WPI)-1402〕 I.5 [EAMN25K]

会議をかたんに要約、議事録作成をサポート



eAssistant Minutes

イーアシスタント ミニッツ



本カタログ掲載商品の価格には、別売部品・付帯工事、使用済み商品の引き取りなどの費用は含まれておりません。

*写真、画像はイメージです。

会議の文字おこし・議事録作成は時間も手間もかかるもの。それらの作業を「議事録作成支援ソリューション」にまかせることで、全員がディスカッションに集中でき、議事録まとめにかかる時間の大幅な節約が可能になります。

POINT 01

文字おこし、要約作成などの全ての処理を議事録作成端末でおこないます

エッジAI搭載

セキュアに文字おこし・要約作成できるので、会議室に設置して、安心して共同で利用できます。

使い放題!

ユーザー登録不要、利用時間や要約作成回数の制限を気にせずご利用いただけます。

コントロールアプリ

議事録作成端末を操作します。議事録はコントロールアプリに保存されます。

POINT 02

文字おこし、話者分離、要約作成をリアルタイムで

要約作成

会議中に一定量の会話が発話されると、自動で要約を作成します。

議事録共有

会議中の議事録画面は参加者にリアルタイムで共有できます。



議事録画面(ブラウザ)

話者分離

事前の声紋登録が不要で、音声から自動で話者を分離します。

ユーザー辞書

単語登録することにより、音声認識されにくい固有名詞や社内用語などにも対応可能。



エッジAI搭載 議事録作成端末

CE-LLM

文字おこし

話者分離

要約作成

SHARP Audio Adapter for eAssistant

オーディオアダプター



※本ソリューションの機器構成については、裏表紙の「機器構成」にてご確認ください。

POINT 03

さまざまな環境での文字おこしを実現 オンライン会議や録音データにも対応

オンライン会議

Web会議用PCと議事録作成端末を音声の送受信が可能なアダプターで接続することで、オンライン会議でもリアルタイムで文字おこしできます。さまざまなWeb会議サービスと併用できます。

動画・音声ファイル

外出先で録音した音声や動画ファイルから、会議での利用時と同様のフォーマットで議事録を作成できます。1時間の録音データであれば約10分程度で作成できます。

シャープが提供する“e”

eAssistant

イーアシスタント

easy

簡単操作でお客様の議事録作成をサポートします。

efficiency

お客様のコラボレーションと情報共有を効率化します。

enhancement

お客様のコラボレーションと意思決定を促進します。

シャープの法人向けビジネスにおけるAI活用ソリューション。オフィス、パブリック、リテール、ロジスティクスと様々なフィールドにおいてハード、ソフトをご提供してきたノウハウとAIを融合することで新たなDXソリューションでお客様の「働く現場」をアシストします。

CE-LLM

CE-LLM (Communication Edge - Large Language Model) は、シャープ独自のエッジAI技術の総称です。エッジデバイスにAI技術を搭載し、必要に応じてクラウドAIもシームレスに活用。スムーズで心地よいコミュニケーションを実現するとともに、プライバシー情報にも配慮します。CE-LLMにより、AIがより身近になり、生活やビジネスシーンに自然に溶け込む世界を実現します。